

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮城県仙台第三高等学校（宮城県）

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（言語文化×オンライン交流授業）



動画配信アプリによるオンライン交流の様子

【宮城と京都の学校のオンライン交流授業について】
言語文化のオンライン交流は3年目を迎えており、今年度は2年生で「贈答歌」1年生で「昔話の方言訳」の活動を行った。

「贈答歌」の生徒活動の流れ

- ①日本の美意識と和歌について理解を深める
- ②贈答歌解説、京都の学校より贈られてきた歌の解釈
- ③返歌創作・スライド作成
- ④オンライン交流授業
自己紹介・和歌の解釈についてプレゼンテーション
京都の学校から和歌の解説と返歌についての感想
振り返りと評価

【事前に設定した身につけさせたい力】

- 相手が想定した人物像や状況、情景について豊かに想像する力
- 日本人特有の美意識を和歌に詠み込む力
- 物語の世界観の広がりや、表現の広がり
- 地域の文化や方言の意味の深い理解力

【生徒事後アンケートによる評価】

「日本特有の美意識を和歌に読み込ませる姿勢と表現」「自分の地域の文化や歴史の深い理解と新たな発見」の項目で高い評価が得られた。

【生徒の感想】

- ただ単に自分一人で完結させる歌ではなく、贈答歌だったのがよりおもしろかった。特に解釈に関しては、相手の意図を汲むことや、その難しさを発見できた。

- 修辞や助動詞の復習する機会となった。また、相手の習慣や文化の違いを踏まえて返歌の作成に努めることができた。



オンライン交流における発表活動の様子